

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	ボランティアや家族との交流は出来てきていると思うが近隣地域との交流の回数が少ない。	保育園、中学校、子供会等、異世代交流をもち、地域とのつながりを作り精神安定、認知症進行予防を図る。	保育園の管理者と面談する。予定を聞き、それを元に訪問し交流を重ねていく。(晴れた午前中や運動会の練習、運動会等)また施設への訪問も依頼する。	12 か月
2	27	その人の日々の変化や行動、認知症の状態が少しずつ進行しており重度化が進んでいる。個々に合った体操やレクリエーションが探せていない。	認知症状態を職員全員が把握し個々の出来る事を探し、食に関する環境を中心に本人のやりがいや喜びを感じられるように支援し安定した生活が送れるようにする。	個々の利用者の精神状態、認知症状態を把握し出来る事を探し、生活史の中にヒントを得たレク等に取り組み、生きがいを感じてもらおう。記録を明確化し周知徹底を図り、ケアに反映させる。	12 か月
3	19 33	家族との話し合いは行っており家族交流会などで意見をもらっているが、終末期ケアには至っていない。	気軽に来て貰い、なんでも言ってもらえる関係を作る。その結果がターミナルケアに繋がるようにする。	家族交流会や家族と共の外出やドライブ行いコミュニケーションを図る。また来所時には職員一人一人がきちんと状態説明が出来、対応できるようにする。職員のターミナルケア研修を行う。	12 か月
4					
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。